

広報ふじ

昭和39年4月1日発行

定価 1部 2円

市勢の動き	
(昭和39年1月現在)	
面 積	30.55平方キロ
人口総数	51,497人
男 {	26,215人
女 }	25,282人
世帯数	11,276世帯



完成急ぐ 田子浦港

○……東陸河岸臨海工業地帯および岳南工業都市の門戸としての富士市の伸長ぶりは最近めざましいものがあります。

人口5万1千の本市は東海道線を始め山梨、静岡をむすぶ身延線を有し、また交通の要衝としても知られ1日約9万人の乗降客で賑わい更にはバス路線も縦横に発達し、四季を通じ五湖めぐりの団体客で活況を呈しています。

○……さて機上から眼下にみる本市の姿は全くすばらしい。駿河湾から北に三角形に口を開けている田子浦港。そして雄大な秀麗富士を仰ぎ前方には高架橋の新幹線や市の中心街が大きく広がっています。総工費8億円の巨費を投じてすでに9分となりの完成をみた田子浦港は、いま力強い建設の効音と共に最後の締め上げに急ピッチをあげています。

○……この港の完成によって本市は更に発展し、岳南広域都市の建設、富士市を中心とする関係市町の大同合併は、いまや目前に迫っています。そして新たな開拓によつて本市は今後更に大きく伸びその前途は津々たるものがあります。

(写真は機上より田子浦港を写す)

○…とじ込んで保存して下さい…